

瀬部小だより 2月号

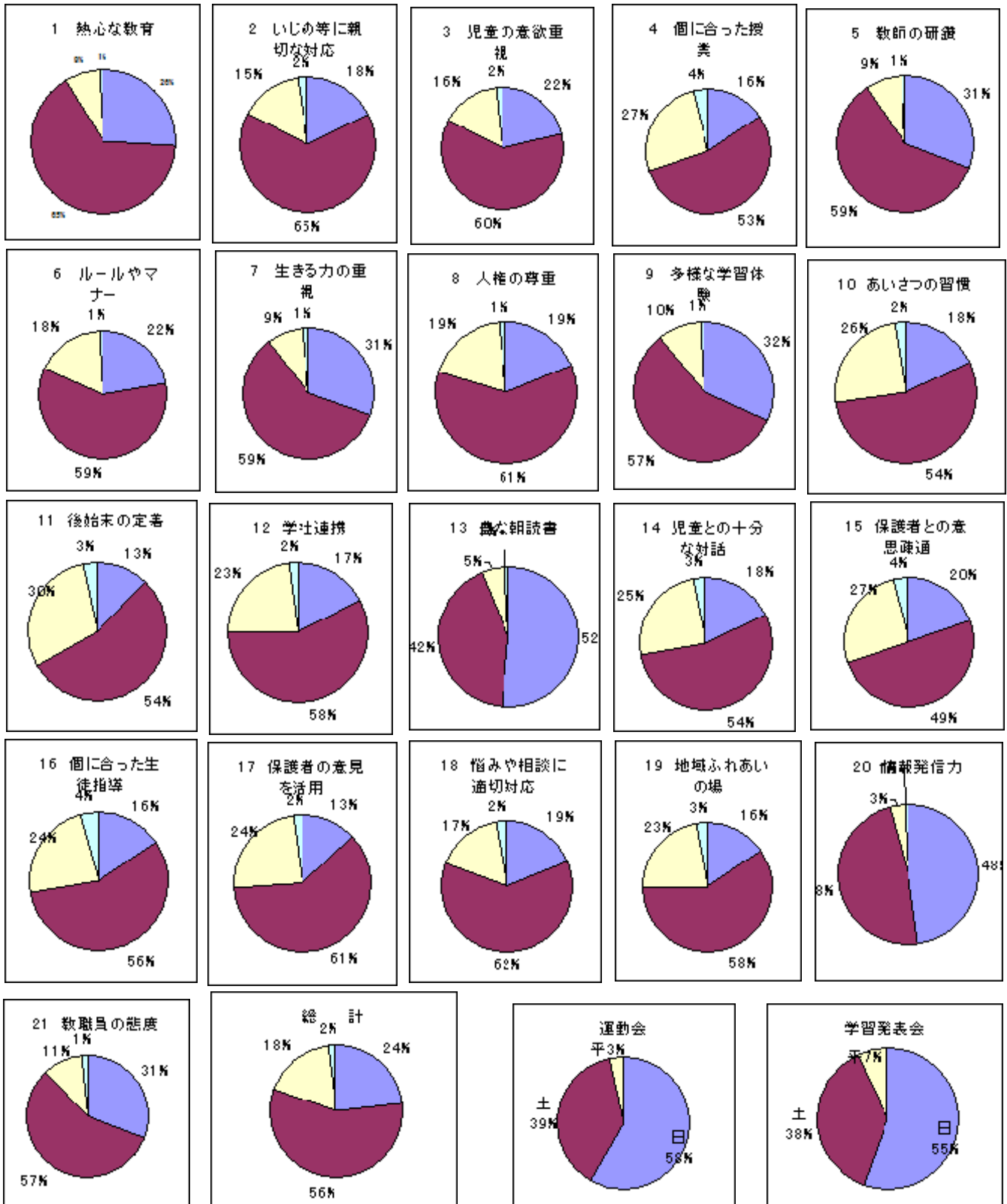
平成20年2月4日



瀬部小学校教育活動に関する保護者アンケートの集約(のべ555名の方から回答がありました。)

アンケートの集計結果を昨年度と比較しますと、どの項目についても向上の気配が感じられます。

特に、4個に合った授業 5教師の研鑽 7生きる力の重視 8人権の尊重 11後始末の定着 14児童との十分な対話 15保護者との意思疎通 16個に合った生徒指導 17保護者の意見を活用 18悩みや相談に適切対応 20情報発信力 21教職員の態度については、昨年に比べ5%アップ強の評価です。なお、運動会と学習発表会についてはアンケートどおり、来年度も日曜日に実施となりますのでご了承ください。グラフは、右回りに「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」「そう思わない」の順に表示してあります。裏面には、意見とコメントも載せてあります。



ご意見(ご意見ご要望は意を汲んで、まとめて載せてあります。)

学校行事について

2日も休めないで、代休と学校公開は同週にしてほしくないし、夏休み前の4時間授業は困る。代休は連休になるように、代休と学校公開を同じ週にしないで、運動会の兄弟姉妹は同じ組で、学習発表会は兄弟の時間をずらすか、別の時間帯か参観時間を増やすか、屋運での学芸会(劇)方式にして、見られるように、行事は土曜に開催し、日・月と体を休ませたほうがいい。土日交互の開催はどうか。習い事があるので、行事は平日開催に、運動会は土曜開催だと雨天でも日曜に順延できる。運動会などの行事写真は、写真業者で撮影し販売を、学校公開日は長すぎ、マラソン大会・給食試食会を同時開催か別の月に、午前・午後の行事を入れ替えはどうか。連絡事項は早めに知らせてほしい。

コメント 夏休み前後の1週間は、暑い時期ですので、子どもたちの健康を考慮して午前中の授業です。

授業について

1年の算数の少人数教室はどうなったのか。2年の掛け算は暗唱するが、3・4年でも何か暗唱できないか。保健室隣の1階教室は授業中外に出やすいので、できたらやめるとよい。水泳の授業が少なすぎる。運動会をなくして、水泳の授業に当てるべき。宿題の量を増やして、子どもの目が行き届く20人程度の少人数のクラスはできないか。担任以外の授業は、4月に連絡を、天気の良い日でも電灯をつけて暗くならないように。

コメント 保健室隣の教室は、学級増のために来年度も使用しなければなりません。20人くらいの少人数クラスは、現在のところ無理です。

登下校について

早く帰るなど、急な連絡はメールで知らせてほしい。分団下校で、低学年は歩くのは遅いが、前のほうを歩かせてほしい。登下校の状況がひどく挨拶も少ないので低学年のうちに指導を、先生だけに任せるのではなく、地域で子どもを見守ることが大切。下校時間などの変更がある場合は、本年度中に連絡を、ボランティアの人にも挨拶を。西成東小・西成東小では地域の見守り隊が活躍。瀬部小でも、保育園での行事の際は、保育園への下校を、部活の終了時間をはっきりと(不安)不審者情報の場合、遠い集合場所まで下校指導を。

コメント 緊急メールがある場合がありますので、携帯電話は手元においてください。下校指導はさらに力を入れて行きたいと思っておりますので、不審者対策上、保育園で行事がある場合は、本校にお子さん迎えてから、保育園の行事に参加していただきたいと思っております。

保護者評価について

親が積極的に学校の情報を知る努力をしたい。担任の評価と学校全体の評価があるとよい。学校との関わりがないので、アンケートの回答に苦しむ。評価結果の説明を。

コメント 保護者の評価結果は、本校の教育改善のために反映するよう努力しています。学校便りやホームページなどを通して、学校教育について知っていただきたいと思っております。そして、将来ある子どもたちのために保護者の皆様と一緒に考え合っていきたいと思っております。

PTA 役員について

PTA 役員の決め方を変え、例えば、名簿をランダムにするなど、同じ人が何度もやらなくてもよいように。

コメント 学級役員の選出については、PTA でじっくり時間をかけてより良い方法を検討していきたいと思っております。

その他

先生方には大変お世話になり、いつも感謝。瀬部小のホームページはすばらしい。子どもの話を真剣に聴いてほしい。アレルギーを持つ子にも、食育の大切さをもっと理解させて。シューズは値段が安い白にならないか。全学年同じ上履きでも、悪いことをしたとき「どうして」と聞いてほしい。PTA 新聞など配布プリントは一世帯1枚で、一つのテーマ(挨拶など)を決めて根気よく子どもたちに浸透を。先生の言葉遣いに注意を。

コメント 配布プリントは、1世帯1プリントのほうが良いというのが大人の感覚ですが、子どもたちにとっては、もらえない子はさびしい思いをしているようですので、全員配布をしています。